小樽市立菁園中学校　学力向上改善プラン

１　実施期間

令和５年４月１日～令和６年３月３１日

２　生徒の実態

令和４年度全国学力・学習状況調査における本校の平均正答率は、国語７２．０％（全国平均+3.0），数学が４９．０％（全国平均−2.4）であった。国語では、全国平均を上回る一方で、記述式問題の正答率は全国平均より２．２ポイント下回り、さらに無回答率は２２．９％と全国平均の１２．８％を大きく上回る結果であった。数学では、特に関数の分野での正答率が全国平均を４．５ポイント下回り、苦手としていることがわかる。また、上位層と下位層の二極化の傾向は継続しており、生徒の力に応じた授業の実践やサポート体制が必要である。

家庭学習や生活習慣については、昨年度の生徒アンケートから、平日に家庭学習をする時間が１時間以上の生徒が５４．５％と全国平均の６９．５％より下回っている。また、平日にスマホ等でSNSや動画視聴をする時間が４時間以上の生徒が２５．８％と、全国平均の１５．６％を大きく上回る結果であった。家庭学習の定着を図るとともに、生活習慣スケジュール表等を活用した望ましい生活習慣を確立させることが課題である。

３　学年ごとの定着目標（数値目標）

＜国語科＞

学年	定着目標
１年	・記述式問題の回答率８８％以上にする。
２年	・記述式問題の回答率８８％以上にする。
３年	・記述式問題の回答率８８％以上にする。

＜数学科＞

学年	定着目標
１年	・比例の意味を理解し、基礎的な問題を８０％以上解くことができる。
２年	・一次関数の意味を理解し、基礎的な問題を７０％以上解くことができる。
３年	・y=ax^2の意味を理解し、基礎的な問題を６０％以上解くことができる。

＜学習・生活習慣（家庭学習等）＞

学年	定着目標
１年	・毎日７０分以上、家庭で学習する。
２年	・毎日８０分以上、家庭で学習する。
３年	・毎日９０分以上、家庭で学習する。

４　目標を達成するための具体的な方策

（１）基礎学力の確実な定着を図る取組

① 朝読書を通年計画的に実施する。
② チャレンジテスト、確認テストを活用する。
③ 数学科・英語科にて少人数指導や習熟度別学習を実施する。
④ 放課後学習を計画的、継続的に実施する。

（２）確かな学力をはぐくむ授業改善の取組

① 公開研究会を通じた、授業の質を高めるための研修を進める。
② １単位時間の「課題」「振り返り」を意識した授業を工夫する。
③「自らの学びを深め、表現力をはぐくむ学びの工夫」を行う。

（３）家庭と連携した学習習慣・生活習慣をはぐくむ取組

① スクール手帳「あすのおと」を活用し、生徒に指導するとともに、保護者に説明する。
② 通年において計画的な放課後学習を行う。
③ 長期休業中の補充的学習サポート（夏休み・冬休み）を行う。
④ ＰＴＡへの説明会や様々なたより等で啓発する。
⑤「生活習慣スケジュール表」を実施する。

５　実施計画

年月日	計　画　内　容
Ｒ５年 ４月	・チャレンジテストの実施 ・全国学力・学習状況調査過去問題の実施 ・スケジュール手帳「あすのおと」の配付と生徒への指導、保護者への説明 ・朝読書の実施（通年） ・放課後学習の実施（通年） ○Ｒ５全国学力・学習状況調査の実施 ○全国学力・学習状況調査　自校採点　結果分析
５月 ６月 ７月	○標準学力調査、総合質問紙調査結果分析 ・前期保護者アンケート、生徒アンケートの実施 ・チャレンジテスト、確認テストの実施 ・「あすのおと」を利用した家庭学習の振り返りの実施 ・学校運営協議会の開催 ・夏休みの補充的学習サポートの実施 ・小中一貫教育合同研修会
８月 ９月 １０月 １１月 １２月	○Ｒ５全国学力・学習状況調査結果分析 ○学力向上改善プランの評価・改善 ・公開研究会の実施 ○保護者への調査結果の説明 ・後期保護者アンケート、生徒アンケートの実施 ・小中合同学校運営協議会の開催 ・チャレンジテスト、確認テストの実施 ・「あすのおと」を利用した家庭学習の振り返りの実施
Ｒ６年 １月 ２月 ３月	・冬休みの補充的学習サポートの実施 ・研修アンケートの実施 ・学校運営協議会の実施 ・全国学力・学習状況調査過去問題の実施 ・関係者評価委員会の開催 ・チャレンジテスト、確認テストの実施 ・「あすのおと」を利用した家庭学習の振り返りの実施 ○学力向上改善プランの評価、改善 ○新学力向上改善プランの作成

６　評価方法

（１）基礎学力の確実な定着を図る取組

① 「情報の扱い方に関する事項」に関わる教科書の教材「思考のレッスン」の指導を丁寧に行う。
② 数学の単元テストを計画的に行う。
③ チャレンジテストや確認テスト、標準学力テスト、全国学力・学習状況調査の結果を分析し、指導に活用する。

（２）授業改善を図る校内研修の取組

・３学期に研修アンケート（生徒・教員）を実施する。

（３）望ましい学習習慣・生活習慣を形成する取組

・１、２学期末に保護者アンケート、生徒アンケートを実施する。